



爆砕竹繊維による糸・生地・衣服・不織布の開発

竹繊維等を衣料や不織布に応用

技術分野分類 1701：家政・生活学一般

技術キーワード (K) 衣生活：生活素材

産業分類 E：11 繊維工業

内容	概要	岐阜県内の繊維地場企業と当センターで研究会を組織し研究を行っている。竹を爆砕した繊維と綿糸を混紡してニットや織物を試作し、衣服への応用を目指している。また、県産木材の間伐材の粉末を用いた不織布を開発している。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	竹は成長が早くエコロジー素材として有用であるが、衣料品への応用には海外生産のレーヨンが主流である。本研究では、竹を爆砕して発現する抗菌性と、天然の素材感を生かした繊維製品の開発を行い、肌へのやさしさも考慮した衣料用繊維である。また、県産木材の間伐材の粉末を用いた不織布は、天然由来の抗菌性を活かしたペット商品への応用を模索している。
	本技術の有用性	竹は成長が早くエコロジー素材として有用であるが、衣料品への応用には海外生産のレーヨンが主流である。本研究では、竹を爆砕して発現する抗菌性と、天然の素材感を生かした繊維製品の開発を行い、肌へのやさしさも考慮した衣料用繊維である。また、県産木材の間伐材の粉末を用いた不織布は、天然由来の抗菌性を活かしたペット商品への応用を模索している。
関連情報(図・表・写真等)	 <p>←爆砕竹混紡糸による製品</p> <p>県産木材の間伐材の粉末を用いたペットシート →</p> 	
適用可能製品	爆砕竹による製品／ファッション製品・小物 間伐材による不織布／ペット用品	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	山内寿美 繊維部 主任専門研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	繊維部 058-388-3151 / 058-388-3155 yamanouchi-hisami@pref.gifu.lg.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2016年10月27日